

# さかえ

市議会だより

No.135

2017年10月20日

## 騎馬戦「とられたっ！」

(西根小学校にて)

### 目次

- 議案に対する主な質疑…………… P 2
- 提出議案と採決結果…………… P 4
- 意見書、議会日誌、議会報告会のご案内… P 5
- 一般質問…………… P 6
- 市民の声、おらがまち紹介等…………… P 12



# 9月定例会

9月定例会は、8月30日から9月21日までの23日間の会期で開かれ、平成28年度各会計決算の認定11件、人事案件1件、補正予算4件、条例制定1件、その他4件の合計21案件を審議した結果、いずれも原案のとおり認定、同意、可決しました。また、請願2件が採択され、それに伴う意見書の議会案を可決し、国の関係機関に送付しました。



## 同意

人権養護委員の候補者の推薦  
渡邊一博さん(下河原)  
佐藤美奈子さん(南町)

## 報告

財政の健全化判断比率  
実質公債費比率(注1)  
9・5%(25%)  
将来負担比率(注2)

## 議案に対する主な質疑等

### 条例関係

田代地区多目的交流館の設置及び管理に関する条例の制定

議員 プレオープンとグラ  
ンドオープンは、いつか。

答弁 来年1月から3月ま



64・0%(350%)

※(一)内は早期健全化基準

注1/一般会計が負担する  
公債費等の標準財政  
規模(市税や普通交  
付税などの合計額)に  
対する比率。

注2/一般会計が将来負担  
すべき実質的な負債  
の標準財政規模に対  
する比率。

でモニターツアー等のイベ  
ントを企画しており、この  
期間をプレオープンとして  
います。グラントオープン  
は、来年4月としています。

### 決算関係

平成28年度一般会計決算の  
認定

ふるさと納税

議員 平成28年度のふるさと納税は、約23億円をいた  
だいているが、寄付金の処  
理と返礼はどのようにして  
いるのか。

答弁 振り込みが確認され

た年度の収入になります。  
例えば平成28年度に振り込  
みをして、翌年度に返礼品  
の送付を希望する場合は収  
入が平成28年度、それに対  
する返礼品の経費は平成29  
年度となります。

### 山西米沢線の工事

議員 山西米沢線の工事は、  
平成29年度で終わる予定か。

答弁 平成29年度終了の予  
算編成をしていますが、宅  
地移転の関係で、その方の  
移転期限が来年3月末であ  
るため、工事については一  
部翌年度に繰越となります。

### 空き店舗対策支援事業

議員 空き店舗対策支援事  
業補助金の支出件数は何件  
か。また、補助金支出後、  
廃業した店舗はないか。

答弁 この補助金は中心市  
街地限定の事業で、平成28  
年度は店舗改修費が5件、  
家賃補助が9件で、ほとん  
どが飲食業です。中には、  
廃業した店舗もあります。

### ゆめタネ@さがえ

議員 ゆめタネ@さがえで、



土日に魅力あるイベントを  
集中させた結果、来場者数  
はどうだったのか。

答弁 1カ月間の来場者数  
は45万5577人で、前年  
度を大きく上回りました。  
要因としては、初開催も含  
めイベントを集中させたこ  
と、公園内のファンタジー  
ランドに大型遊具を増設し  
たことで子供連れの来場が  
増えたと考えられます。

### 介護ロボット導入支援事業

議員 介護ロボット導入支  
援事業補助金で、実際導入  
した事業者の反応はどうか。

答弁 機械が大きく保管場  
所などスペース確保の問題  
はありますが、介護職員の

負担軽減になっていると喜んでいました。

### 英語力育成事業

議員 英語力育成事業で、ALTを1名増員し3名体制となったが、3年後の小学校英語教科化に向け、ALTを増員する考えはあるか。

答弁 ALTの体制は市内3中学校に対して3名で、第1段階と捉えています。現体制での成果を見ながら、英語教育充実のために必要と判断したときに、増員を要望してまいります。

### 平成28年度公共下水道事業特別会計決算の認定

議員 現在、中央工業団地で下水道整備を実施しているが、その進捗状況及び下水道を使用しているのは、約80社の内で何割くらいか。

答弁 中央工業団地における平成28年度末の管渠の整備延長は5307メートルで、計画延長の約49%の状況です。また、汚水柵(ます)は50社に設置しており、26社が下水道を使用してい

ます。使用している割合は、52%です。

### 平成28年度国民健康保険特別会計決算の認定

議員 市内でのジェネリック医薬品の普及率は、どのくらいか。

答弁 平成29年5月現在で、73・57%です。

### 平成28年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

議員 家族介護者交流激励支援事業で、交流会の対象者と参加者は何名か。

答弁 平成28年度の対象者は、要介護3から5の認定を受けている方と、認知症の自立度がⅢ以上の方を在宅で介護している方で、合計376名にご案内を送付しました。昨年10月17日と23日の2回開催し、それぞれ23名、12名の35名が参加しました。

### 平成28年度市立病院事業会計決算の認定

議員 MRIの平成28年度年間検査使用回数は何回か。

答弁 1045件で、前年

度より29件増えている状況です。1日当たり4件を目標としており、年間目標数972件に対して、達成率は108%です。

### 予算関係

#### 一般会計補正予算(第3号)

#### 結婚新生活支援事業

議員 結婚新生活支援事業費補助金とは、どのような支援策なのか。

答弁 市内に住所を有する新婚世帯で、どちらかが40歳未満であること。そして世帯所得が340万円未満等の、経済的余裕がない世帯に対する支援です。対象は引越し等の費用で、最大30万円の補助となります。

#### 高収益園芸産地パワーアップ支援事業

議員 高収益園芸産地パワーアップ支援事業費補助金について、海外産の花がたくさん入って単価が下がりが経営が大変だと聞か、現在のバラの収益性をどう見ているのか。

答弁 花卉(かき)については海外から輸入品が多く入ってきており、単価的に伸び悩んでいるのが現状です。また、新品種を出荷しないと中々単価が伸びないところもあり、非常に危惧しているところです。市としても、さまざまな補助事業を組み合わせながら支援していきたいと考えています。

#### 駐車場管理事業

議員 駐車場管理事業の委託料で219万7千円とあるが、いつまで警備員を配置するのか。

答弁 駅前広場の駐車場に、10月から平成30年3月まで配置します。その後は、関係各課と協議し対応します。

#### 住宅建築推進事業

議員 住宅建築推進事業補助金は、下水道の合併浄化槽の補助金と併用可能か。

答弁 併用することが可能です。

### 請願関係

#### 2018年度地方財政の充実・強化を求める請願

#### 賛成討論

本市の一般会計決算において地方交付税は対前年比2・1%減の約42億円であり、結果的に事業展開にブレキがかかってしまったことなどがある。地方財政の検討では国民生活を犠牲にすることのない配慮した歳入・歳出予算とし、的確に見積もることを政府に求めるものである。

#### 反対討論

増大する地方自治体の財政需要を的確に把握した社会保障予算の確保や地方財政措置等、現在政府が既に手掛けている内容である。現在国は多くの借金を抱え、地方が安易に国にお金を求めるのはいかがなものかと思う。地方自治体自らも努力する姿勢も必要であることから、あえて採択するまでもないと考えます。



## 第3回定例会（9月定例会）の提出議案と採決結果

議案番号	議案名等	採決結果
	人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同意（全会一致）
認第1号	平成28年度寒河江市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
認第2号	平成28年度寒河江市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
認第3号	平成28年度寒河江市浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
認第4号	平成28年度寒河江市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
認第5号	平成28年度寒河江市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（賛否表参照）
認第6号	平成28年度寒河江市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（賛否表参照）
認第7号	平成28年度寒河江市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（賛否表参照）
認第8号	平成28年度寒河江市介護認定審査会共同設置特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
認第9号	平成28年度寒河江市財産区特別会計（高松、醍醐、三泉）歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
認第10号	平成28年度寒河江市立病院事業会計決算の認定について	認定（全会一致）
議第46号	平成28年度寒河江市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定（全会一致）
議第47号	平成29年度寒河江市一般会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
議第48号	平成29年度寒河江市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
議第49号	平成29年度寒河江市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
議第50号	寒河江市田代地区多目的交流館の設置及び管理に関する条例の制定について	可決（全会一致）
議第51号	和解について	可決（全会一致）
議第52号	市道路線の変更について	可決（全会一致）
議第53号	市道路線の認定について	可決（全会一致）
議第54号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の一部変更について	可決（全会一致）
議第55号	平成29年度寒河江市一般会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
請願第2号	2018年度地方財政の充実・強化を求める請願	不採択（賛否表参照）
請願第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2018年度政府予算に係る請願	採択（全会一致）
請願第4号	平成30年産以降の米政策の見直しを求める請願	採択（全会一致）
議会案第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	可決（全会一致）
議会案第4号	平成30年産以降の米政策の見直しを求める意見書の提出について	可決（全会一致）

### 賛否表（賛否が分かれたものや、退席などがあった場合に表示しています）

議席番号 議員氏名 議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	議決結果
	内藤 明	古沢 清志	佐藤 耕治	渡邊 賢一	伊藤 正彦	遠藤 智与子	太田 芳彦	石山 忠	阿部 清	沖津 一博	國井 輝明	辻 登代子	杉沼 孝司	工藤 吉雄	木村 寿太郎	柏倉 信一	
認第5号	※	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認第6号	※	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認第7号	※	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
請願第2号	※	×	×	○	×	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	○	不採択

○は賛成、×は反対、※議長は採決に加わらない。



# 意見書(抜粋)

## 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書

いじめ・不登校の課題など、学校をとりまく状況は複雑化、困難化しており、学校に求められる役割は拡大しています。子どもの学ぶ意欲・主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠です。こうした観点から2018年度政府予算編成において強く要望します。

1 子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。  
2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。  
平成29年9月21日

山形県寒河江市議会議長 内藤 明  
提出先／衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

## 平成30年産以降の米政策の見直しを求める意見書

1 平成30年産以降、再生協の役割がこれまで以上に重要になることが想定されることから、運営費の十分な確保など、再生協がさらに機能を発揮できるような環境を整備すること。  
2 関係団体が一体となって需要に応じた生産に取り組むための全国組織の設置を早急にすすめること。

3 水田活用の直接支払交付金について、助成体系や交付単価を維持しうる十分な予算を確保するとともに、恒久的な措置とすること。また、地域の裁量に

よる活用を可能とすること。

4 平成30年産以降、米の直接支払交付金(7500円/10a)が廃止されるなかで、需要に応じた生産とそのことに取り組む農家の所得向上等を実現するために、その財源を水田農業政策の総合的な充実・強化に活用すること。  
5 現行のナラシ対策は、趨勢的な価格下落に対応できないことから、発動基準となる標準的収入の最低基準を設定するなど、再生産が可能であり、かつ生産者が先を見通し安心して取り組める仕組みとすること。また、平成30年産以降も引き続き、再生協の仕組み等を通じて需要に応じた生産に取り組む生産者を対象とするよう、早急に適切な要件を設定すること。

6 作付段階で需要に応じた生産の取り組みを徹底したとしても、豊作等により供給過剰が発生する可能性があるため、米穀周年供給・需要拡大支援事業による長期計画的な販売の取り組みに対する支援の拡充等、出来秋以降の需給調整の仕組みを整備すること。

7 地域の水田農業の維持・発展に向けて、産業政策と車の両輪となる地域政策として日本型直接支払制度を拡充すること。具体的には、農地維持支払が担い手の所得向上に直接結びつくよう見直すとともに、中山間地域等直接支払制度が条件不利地のコスト差をしっかりと補える交付水準とすること。  
平成29年9月21日

山形県寒河江市議会議長 内藤 明  
提出先／内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

# 議会日誌

(7月21日～10月20日)

7月	21日	森林・林業・林産業活性化推進寒河江市議会議員連盟役員会、議員懇談会、タブレット端末研修会、総務産業常任委員会協議会、厚生文教常任委員会協議会、議会改革・活性化検討委員会
8月	25日	スポーツ議員連盟役員会
1日	8月	総務産業常任委員会協議会、西村山地方議長協議会行政視察(～2日)
8日	8月	議会運営委員会協議会、県市議会議長会第55回議員研修会
18日	8月	四者親善スポーツ大会
21日	8月	議員懇談会
25日	8月	議会運営委員会、議会運営委員会協議会
28日	8月	西村山地方開発重要事業要望
29日	8月	議会運営委員会協議会、議会運営委員会
30日	8月	第3回定例会(～9月21日)、総務産業常任委員会協議会
9月	9月	市議会だより編集委員会
2日	10月	スポーツ議員連盟モニテリオ山形応援
7日	10月	議会運営委員会
8日	10月	議会運営委員会協議会
20日	10月	議会運営委員会
21日	10月	議員懇談会
26日	10月	市議会だより編集委員会
29日	10月	議会改革・活性化検討委員会
1日	10月	市防災訓練
2日	10月	姉妹都市大韓民国安東市訪問(～5日)
6日	10月	市議会だより編集委員会、西村山広域行政事務組合議会運営委員会
12日	10月	群馬県より市議会行政視察団来寒
13日	10月	森林・林業・林産業活性化推進議員連盟視察研修、議会運営委員会協議会
14日	10月	やまがた美しい森林づくり推進大会
16日	10月	西村山広域行政事務組合議会第2回定例会
17日	10月	福島県伊達市議会行政視察団来寒、厚生文教常任委員会行政視察(～19日)
18日	10月	福井県坂井市議会行政視察団来寒
20日	10月	議員懇談会、町会長連合会との意見交換会

## 平成29年9月定例会 議会報告会のご案内

都合のよい会場へ、お気軽にお越しください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時	会 場
11月6日(月) 午後7時～	高松公民館、八鍬公民館
11月7日(火) 午後7時～	舟橋公民館、宝集落センター
11月8日(水) 午後7時～	慈恩寺活性化センター
11月9日(木) 午後7時～	落衣公民館、中町公民館(白岩)、道生集落センター
11月10日(金) 午後7時～	栄町公民館





**太田 芳彦**  
議員

## 高齢者支援対策の強化について

①認知症サポーターの育成に力を入れていますが、目標に対して進捗はどのようになっているのか伺う。

②特別養護老人ホームへの入居待ちの方が非常に多いと聞いているが、本市の入居待機者数の現状は。

③介護予防の総合的な推進で免許返納者への移動支援とあり、高齢者運転免許証自主返納支援事業として本年度の予算に組み込まれているが、現状について伺う。

**市長** ①平成37年度までに1万人に増やす目標に対し、今年8月末



認知症サポーター養成講座

現在4041名という状況です。

②今年7月末現在、要介護3～5の在宅の方で把握している人数は98名で、うち優先度が高い要介護4と5の方は56名となっています。

③今年4月から、高齢者の自主返納者には2万円分のタクシー券等を交付しており、8月29日現在、54名の方が申請しています。

## 健康長寿のまちづくりについて

①山形県のがんの受診率は全国的に高いレベルにあるが、それに比べ本市の受診率は全体的に低く、底上げが必要と思うがいかがか。

②市立病院で胃ドックが始まったが、胃以外の検診を増やして環境を整えることはできないか。

**市長** ①これまでも土曜日検診や無料受診クーポンなど実施体制を工夫し、さらに今年度から乳がんイブニング検診を行います。今後とも、受診に障害となる要因を分析し、受診率向上に努めます。

**病院事業管理者** ②医師会と連携を取りながら、大腸ドックや脳ドックなど当院での受け入れ体制を整備し、可能なものから実施できるようにと考えています。



**佐藤 耕治**  
議員

## 魅力ある子育て支援について

①低年齢児、0歳児の保育所入所状況について、翌年4月入所予定児は前年10月の申し込みであるが、母子手帳交付により人数の把握ができ、入所が可能ではないか。

②兄弟・姉妹が同一の保育所へ通っていない場合があるが、同じ保育所に入所できないか。

③子どもの遊ぶ環境の整備について、本市の野外・屋内遊び場の構想は、どのように考えているか。

④児童遊園の今後の整備をどのように考えているか。

⑤市立病院への小児科設置について、本市に小児科が少ないため、小児科の設置はできないか。

**市長** ①母子手帳交付数での入所予定児の把握は難しいですが、的確な事前把握の方法を検討します。②保育所の入所については客観的な指標により公平に判断するため、家庭の状況等を点数化し、点数の高い子どもから内定を出しています。



元気に遊んだかまつ保育所の園児たち

す。そのため、兄弟の状況について加点はありますが、同施設入所とならない場合があります。今後、公平性も踏まえ調整を行い、極力、同施設入所できるよう努力します。

③新たな屋内遊戯施設については要望もあり、構想を検討するよう担当課に指示しています。

④今年度より「寒河江市キッズパーク整備事業」を立ち上げ、町内会等が児童遊園の遊具を更新する費用に対し補助金を交付し、遊具整備を促進しています。

**病院事業管理者** ⑤過去に山形大学からの派遣診療が困難になった経過があり、県の地域医療構想からも小児科設置は難しい状況です。





渡邊 賢一  
議員

## 市民の快適な生活環境の保全を

地球規模の温暖化やオゾン層の破壊で過去に経験したことのない集中豪雨による激甚災害が発生し、全国で尊い生命までが犠牲となっている。環境基本計画に基づき、総合的な施策が進められているが、大気や水の汚染、放射性物質や化学物質による汚染など生活環境に悪影響を及ぼす事態に積極的に歯止めをかけるべきである。

- ①不法投棄ゼロに向けた効果的な対策を講じるべきではないか。
- ②リユース（再利用）活動をさらに推進するため、ホームページ上に特設フォームを開設し、譲渡・譲受登録を簡単にできないか。
- ③リメイク（再製作）活動では、シルバー人材センターや福祉施設等と連携し、中心市街地空き店舗を利用した工房で商品製作・販売を進め、「にぎわい」「生きがい」を創成してはどうか。

市長 ①不法投棄の未然防止には、



鯉のぼりをリメイクしたほんてん  
(全国初「ぜみゼロ宣言」のまち徳島県上勝町  
NPO法人「ゼロウェイストア카데미」製作)

地域の監視の目と早期発見が重要であり、パトロールや看板設置の他、市民や民間団体等に情報提供をお願いするとともに、関係団体や事業者と連携を図りながら、モラルの向上を訴えていきます。

- ②不用品登録制度のホームページについては、分かりやすくしていきたいと思えます。また、今年度から「子育てゆずりあいコーナー」を設けており、今後も工夫をしながら譲り合い・助け合いの輪を広げるよう努力していきます。
- ③シルバー人材センターや福祉施設等と連携することを考えていかなければと思います。シルバー人材センターでも空き家対策等に取り組み始めており、リメイクの可能性を相談したいと思えます。



杉沼 孝司  
議員

## 鳥獣被害対策について

熊の目撃情報が毎日報道され、我が市にも寄せられ、農作物への被害があるようだ。特にイノシシ・カワウ・カラスなどによる被害もあるが、被害状況について伺う。

- ①イノシシは、その生態系から爆発的な増加と農作物への被害が予想されるが、対策はどうするのか。
- ②カラスは電線や立木に止まり歩道を糞で汚し、景観を悪くしている。捕獲による個体数調整をすべきでないか。

市長 ①鳥獣被害対策実施隊員は猪捕獲の経験が少ないことから、捕獲方法を学んでいただき、捕獲体制を整備していきます。また、講習会や補助事業により電気柵の普及を一層推進していきます。

②生活環境の被害防止のためのカラスの捕獲は、被害防除対策や追払い等によっても被害が防止できない場合に、必要な範囲で認められています。まずは、情報収集を

## 耕作放棄地と荒廃農地対策について

図りながら、地域の皆さんと相談して追払い等のさまざまな対策を講じた上で、それでも必要な場合には、箱わな等による捕獲も検討していかなければと思っています。

耕作放棄地に、草丈の低い薬草などの健康食品の栽培を推進すべきでないか。

市長 薬草栽培は、古くから全国でアロエやオトギリソウ、ウコンなどのように自家消費を目的に民間療法の原材料として栽培されていますが、費用対効果を考えると出荷販売を目的とすべきと思われる。現在取り組んでいる薬作物産地化推進事業の中で検討していきます。



動脈硬化・脳溢血などの予防や後遺症改善の効能があるメナモミ



伊藤 正彦  
議員

防災行政無線の有効活用を

- ① 防災行政無線の設置基準は。
- ② 防災行政無線の積極的な活用促進についての考えは。
- ③ 新防災マップに基づく地域説明会を実施すべきではないか。

**市長** ①避難所である小・中学校や地区公民館の分館、集会場、消防団のポンプ庫等に設置しています。

②地域の行事などの放送に、積極的に活用していただきたいと考えています。

③これまでも自主防災会の研修会



安全安心のための防災行政無線

等で説明会を行っています。今後も公民館活動など様々な機会に積極的に実施していきます。

市内小中学校の在り方検討促進を

- ① 「イングリッシュ・デー」の評価と来年度以降への課題は。
- ② 市内小中学校におけるLGBT（性的少数者）の児童・生徒・教職員の現状は。
- ③ LGB T研修への参加や研修の実施を考えてはどうか。
- ④ 児童・生徒数偏在という認識に立ち、今後の小中学校の在り方検討が喫緊の課題と考えるが現在の検討状況は。

**教育長** ①英語に対する興味・関心を高めるといふねらいは達成できたと思います。たくさん児童生徒が参加できるように開催日等を検討します。

②配慮等が必要といった相談や報告は今のところありません。

③学校の実情、実態に応じて、校内研修等で研修が実施できるように働きかけていきます。

④寒河江市立学校の今後の在り方に関する懇談会を9月末に開催し、幅広く意見交換していきます。



古沢 清志  
議員

多面的機能支払制度について

自然環境の保全や良好な景観を形成するため、農道や水路協の草刈り等の作業をする事によって交付金が支払われる。交付金を得るには、活動組織をつくり活動計画書の認定を得なければならない。次の3点について伺う。

- ① 近年の実績について。
- ② 制度面での課題について。
- ③ 今後の見通しについて。

**市長** ①平成28年度実績として、農地維持活動は17組織合計で面積1842ヘクタール、交付額約4800万円、資源向上活動は9組



地域ぐるみでの泥上げ作業

組織合計で面積615ヘクタール、交付額約1300万円でした。

②事務手続きが年々煩雑になっているため、県に対し簡素化を要望しています。

③今後は農道舗装や水路整備等ができる長寿命化の取り組みを推進していきたいと考えています。

健やかな子供の成長を願う

①手足口病にかかっている園児の保育所登園について。

②1歳6カ月から3歳までの本市乳幼児の虫歯が全国的にみて非常に多いが、今後の施策について。

③ロタウイルスの予防接種を全額公費負担にしているかどうか。

**市長** ①厚生労働省による「保育所における感染症対策ガイドライン」に基づき対応しています。

②妊婦歯科健診や祖父母学級、フッ素塗布無料券及び2歳6カ月児歯科健診の利用率向上に努めるとともに、歯科医師会等と連携し、

効果的な対策を検討していきます。

③現在は半額助成ですが、子育て支援の拡充を念頭に、他の任意予防接種の公費助成や、国や他自治体の動向も見て検討していきます。





柏倉 信一  
議員

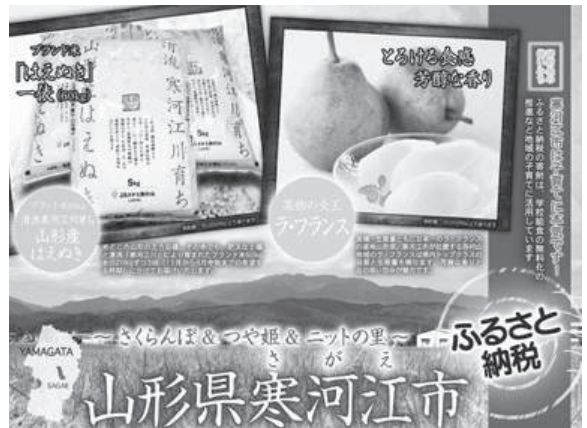
## これからどうなる ふるさと納税

ふるさと納税は本市にとって順調な伸びを示しており、ここ2年で約35億の納税額となっている。農業はもとより、地場産業の需要を生む存在だ。こうした中、今春返礼品激化に対する歯止め策で総務省通達が出されたが、本市として、ふるさと納税に今後どのように取り組まれるか対応策について伺いたい。

**市長** 総務省通知を踏まえ、市民に対する返礼品の送付を中止しており、返礼割合の見直しについては協力事業者と協議を行い影響が最小限になるように配慮しながら対応していきます。今後は、ふるさと納税制度の趣旨を踏まえながら、寒河江市の魅力発信し、全国の皆様に喜んでいただけるよう引き続き取り組んでいきます。

## 若者移住にサテライトオフィスを

若者の雇用場の確保・空き家



対策等、地方自治体にとって現在最大の政治課題である地方創生対応策の一つとして、サテライトオフィス誘致に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

**市長** 市においては、サテライトオフィスとして企業も活用できる空き店舗のリノベーションや家賃補助などの環境整備を行っておりますが、しっかりした対応を行っていくために、立地環境や生活環境などの条件や、メリット、デメリットなど整理する必要がありますが、他地域の取り組みなども参考にしながら誘致につきましては検討していきたいと考えています。



工藤 吉雄  
議員

## 農業生産工程管理（GAP）について

東京オリンピックホストタウン決定を受け、寒河江市産農産物を売り込むに絶好の機会と思う。選手村での食材は、GAP取得者のみと紙上に掲載されている。そこで伺う。

- ① GAPは本市農業に影響はあるか。
- ② 本市の特産物を輸出する農業経営を考える人もいるが、GAP認証取得農家の普及拡大は必要だが、取得指導及び費用支援はないか。
- ③ GAP取得は種類ごとに費用が必要だが、取得指導及び費用支援はないか。
- ④ 現在本市は、さくらんぼの輸出に取り組んでおり、今後拡大の方向にあると考える。アジアエリアで日本産の評価は高いと聞くが、GAP取得で他産地との差別化を図るべきではないか。

**市長** ①本市産農産物はほとんどが国内消費であり、現時点では大きな影響はないと考えています。

②GAP認証は、取得そして維持

するために、費用負担だけでなく生産工程に係る管理労力も相当必要になります。個々の農家から制度をよく理解してもらおうとともに、メリットを享受できる仕組みづくりを関係機関に働きかけることも必要と考えています。

③将来に向けて、全国的なGAP認証の進捗状況や市内農家のニーズ等を調査し、推進支援策を検討していきたいと考えています。

④GAP認証は、輸出入用さくらんぼを出荷する海外輸出推進協議会の会員農家の皆様から取得していただくこととなります。輸出品だけでなく国内流通品にも統一した生産工程管理が必要となるハードルの高い取り組みですが、差別化には有効ですので、理解をいただいて進める努力をしていきます。



海外で人気がある忍者をデザインした紅秀峰輸出向けの箱



阿部 清  
議員

**さがえ小唄・さくらんぼ囃子の  
観光やイベントへの活用**

さがえ小唄は昭和29年に2町5カ村が合併し寒河江市が誕生し、町づくりを盛り上げるために創られた。さくらんぼ囃子は、昭和52年に寒河江名産さくらんぼを広く紹介するために平尾昌晃氏が作曲、西崎みどりさんがレコーディングした曲であるが活用について伺う。



脈々と引き継がれる田代大黒舞

できるように検討していきます。また、「さくらんぼ囃子」については、さくらんぼ狩りに来られた県内外のお客様などに聴いていただいたり、イベントをはじめ、BGMでの活用も含め、関係団体と相談しながら検討していきます。

**民俗芸能の継承について**

民俗芸能は五穀豊穡、無病息災等を祈願し、地域の守り神に奉納するために地域の人々が継承してきた伝統芸能である。

- ① 民俗芸能の継承状況について。
- ② 民謡や詩吟などの授業等での取り組みについて。

**教育長**

① 市内の民俗芸能は、15の地域に田植踊や大黒舞等29件と把握しています。地域では公民館等で練習したり、学校活動では地域の方が指導者となっている場合もあります。多くは、神社の祭礼や文化祭等で披露しています。

② 生活の中で生まれ、歌い継がれてきた民謡や謡は、主に音楽科の授業で取扱われております。詩吟は、伝統文化の理解を深める観点で、総合的な学習で触れる機会を持つている学校もあります。



遠藤智与子  
議員

**値上げしないのでー  
国保・県単位になっても**

来年4月から国民健康保険制度が変わる。都道府県が各市町村の医療費や所得水準などを基に保険料の目安を示し、市町村はそれを参考に保険料を決める方式になる。

① 試算結果の公表と詳細説明などの情報公開をすべきではないか。

② 青天井で上がるばかりの国保料を今定例会の国保特別会計決算に示されている4億5千万円を超える不用額を活用し、値上げしないほしいと考えるがどうか。

**市長**

① 県の公表に合わせ、市ホームページを利用し、試算結果の周知を行っていきます。

② ご指摘の不用額は、歳出の不用額です。医療費の減少に伴い療養給付費等負担金などの収入減も少なくなっていますので、次年度に繰越できる剰余金は、約2億5千万円となっています。保険料の軽減は非常に重要な課題と認識しており、税率が上がる試算となっ

た場合は、剰余金を活用し、税率上昇を極力抑えるよう最大限の努力をします。

**可能になった入学準備金の  
入学前支給を本市でも！**

入学準備金を増額し、来年度小学校に入学予定の就学予定者と中学校入学予定の児童に対し、入学前支給に踏みだしてはどうか。

**教育長**

入学前の支給につきましては、国の要綱改正により、中学校のみならず、小学校就学予定者に対しても、今年度より可能となったものです。生活が困窮している方が、入学のために学用品等を揃えることは大変なことと認識しており、支給方法も含め総合的に検討していきます。



入学前の入学準備金支給を





登録有形文化財となる寒河江市役所庁舎  
(11月に予定される官報への告示で正式決定)

将来的に人口減少が続くと予測されることから、今後の人口規模に応じた都市のあり方（コンパクトシティ化等）や行政サービスのあり方（量から質へ）などを考えていく必要がある。公共施設の複合化やコスト削減について、どのように考えているのか。

**市長** 複合化については、人口減、利用者減の中、同じような施設を

## 公共施設等総合管理計画について



國井 輝明  
議員

まとめることや、民間の施設と合わせた整備、広域的に整備し使うなど、柔軟な視点を入れて計画することが必要だと考えています。コスト削減については、複合化や広域的な利用のほか、用途廃止、長寿命化やライフサイクルコストの考えを持ち、更にPFIのような民間資金の調達も考えなければと思っています。

## 市庁舎並びにフローラ・SAGAEの方向性について

①市庁舎の建て替え等について、どのように考えているのか。

②フローラ・SAGAEについては建て替えを検討し、常に中心市街地で人々が交流できる仕組み作りが必要であると思うがいかがか。

**市長** ①市庁舎はまちのシンボリックな建物でもあるため、市民の皆様の大きな関心事となります。改築に当たっては、遅くない適切な時期に方向性を出せるよう、議論をして行きたいと考えています。  
②複合的施設が賑わいを創造し、街の活性化につながると思います。様々な可能性を求めて、活用促進計画に反映できればと考えています。



石山 忠  
議員

## 平成28年度の決算を踏まえて

第6次寒河江市振興計画の初年度の決算を受け、その分析と課題認識及び対策について伺う。

①収入未済額の要因と対策について伺う。

②不用額の発生要因をどう捉えているのか、その対策の考え方は。

③寄附金による歳出の内訳について伺う。

④ふるさと納税について、地元農家や商店・企業などへの還元率、返礼品へのリピート率は、どのようになっているのか。

⑤平成28年度行動計画に対する決算をどのように評価しているのか。

**市長** ①市税の収入未済額の要因はそれぞれ異なりますが、財源確保や公平性などの観点から重要な課題であり、その解消に向けて納税相談の充実や納付環境の整備等の対策を行っています。  
②無競争の選挙等、事業自体が無くなった、医療・介護給付費の伸



平成28年度寒河江市歳入歳出決算書及び本格稼働したタブレット

びや補助事業等の申請者数が見込みを下回った、国の交付金等が要望より少なく、執行できなかったことなどが主な要因です。今後、国庫補助金の減少で不用額が生ずる場合は、減額補正を行うなどしていきます。

③寄附金のほとんどがふるさと納税によります。返礼品代、返礼のための経費等に支出し、それを除いた金額を、平成29年度の事業に充て活用しています。

④約20%の方より複数回の寄附をいただいております。協力事業者等への直接注文もあり、寄附額以上の経済波及効果が生じています。  
⑤概ね順調に執行できたと思います。現在、市民アンケートを実施しており、分析をして来年度以降の行動計画に反映していきます。

## 市民の声



高屋 栞

ただお 忠夫さん

猛暑も過ぎ去り心地よい季節。四季の流れの速さを感じます。異常気象の連続で各地で集中豪雨に見舞われ、大水害など目を覆う災害発生年でありました。当地は災害も少なく安堵しているところではありますが、備えあれば憂いなしで、防

災訓練や設備の充実など地域と行政が一体となった取り組みが今後必要と痛感しております。

また、急速に進んでいる高齢化社会対策として健康教室やレクリエーション施設など工夫を凝らして展開されておりますが、当事者の参加意識が少々薄いように感じられます。寒河江まつりの「神輿の祭典」は老若男女を興奮させる素晴らしい行事であると思われま

柴橋 渡邊 正志さん

柴橋地区は、真ん中に最上川が流れています。広い岩盤が表れている場所があり、昔、舟着き場があったそうです。酒田より色々な品物と一緒に京の文化が入ってきたようです。柴橋地区で「熊野ラインを進める会」の団体を設立し、9月9日に史跡を徒歩



## 12月定例会の日程(予定)

- 12月4日(月) 本会議(議案上程、説明)
- 6日(水) 本会議(一般質問)
- 8日(金) 本会議(一般質問)
- 11日(月) 本会議(質疑)、予算特別委員会、各委員会・分科会
- 12日(火) 各委員会・分科会
- 15日(金) 予算特別委員会、本会議(採決)

※いずれも9時30分から開会します。

※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局(☎86-2111)にお問い合わせください。

## 議会の傍聴においでください

本会議を傍聴する際には、受付簿に住所氏名を記入の上、議場にお入りください。

議会の会議は原則公開です。

■12月定例会の請願・陳情の締め切りは、11月28日(火)の正午までです。



徒歩で史跡を学ぶ

で巡る活動が開催され、柴橋代官所跡等の説明や、柴橋小学校の歴史にも触れ、明治6年に休明学校と称し、寒河江市で最も早く創設された学校とのことです。柴橋地区には、文化財として昭和58年に県の指定無形民俗文化財に指定された平塩舞楽、また、金谷区にも田植踊りがあり、小学生が受け継いでおります。柴橋地区としてみんなで歴史を辿り、次の世代に伝える活動を行っています。

## 編集後記

八幡宮の森に「幟(のぼり)」がはためき、奴や流鏑馬、神輿の祭典と「寒河江まつり」が多く市民参加を得て、暑い時を過ごした。寒河江まつりが終われば「豊穰の秋」を迎える。今年、7月の酷暑、8月に入ると豪雨や日照不足など、大きな被害のニュースが伝えられたが、本市は大きな影響もなくホッとしている。

9月定例会は、決算議会として8月30日から開催され、平成28年度の一般会計や国民健康保険特別会計など、各会計の決算を中心に審議、12名が一般質問を行うなど、活発な議論が繰り広げられた。収穫の秋、喜びの秋を迎えたら降ってわいた総選挙とまれ、澄んだ空と赤とんぼと共に収穫を喜びたい。ご意見をお寄せください。

石山記